



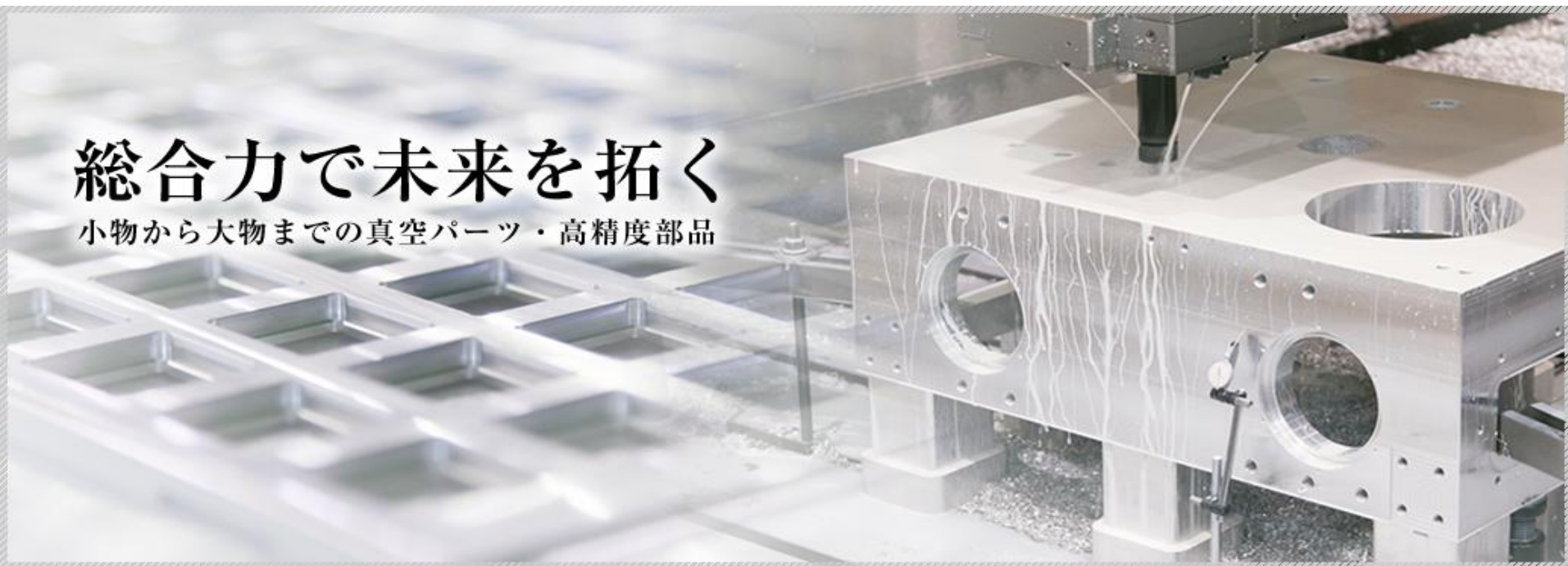
東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ
平成29年8月期 決算説明会

平成29年10月19日
大手町サンケイプラザ 312号室

総合力で未来を拓く

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



PL分析

PL

	平成28年8月期 累計期間		平成29年8月期 累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	2,119	—	3,436	—	62.1
受注残高	355	—	820	—	130.5
売上高	2,242	100.0	3,035	100.0	35.4
売上原価	1,495	66.7	1,923	63.4	28.6
売上総利益	747	33.3	1,112	36.6	48.8
販売管理費	258	11.5	347	11.4	34.3
営業利益	488	21.8	764	25.2	56.5
経常利益	458	20.4	737	24.3	60.9
特別損益	92	4.1	1	0.1	▲97.9
当期純利益	363	16.2	538	17.7	48.2
EPS (円)	34.50	—	50.74	—	47.1
EBITDA	644	28.7	980	32.3	52.2

※H29/3/1付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

Point

①受注状況

- 半導体分野：2,479百万円
(対前年同期：95.2%増)
- FPD分野：921百万円
(対前年同期：11.3%増)
- その他分野：35百万円
(対前年同期：65.5%増)

②売上高

- 対前年同期35.4%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費：530百万円
(対前年同期：46.7%増)
- 労務費：628百万円
(対前年同期：23.1%増)
- 外注加工費：431百万円
(対前年同期：56.3%増)

④営業利益

- 販管費は研究開発費と人件費の増加

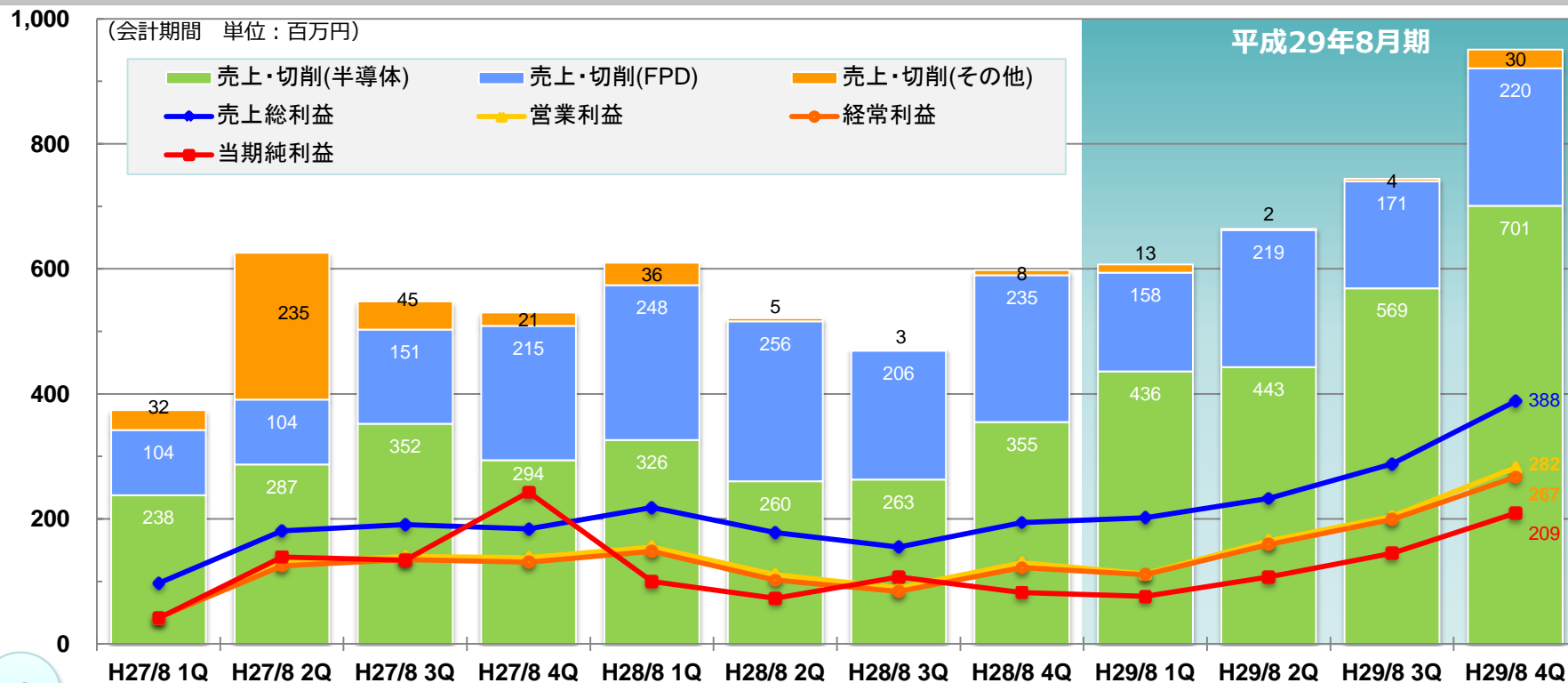
⑤営業外収益/費用・特別利益/損失

- 支払利息：21百万円
- 法人税等：200百万円

1.決算概要



四半期業績の推移



Point

①売上高は、FPD分野が大幅増加（数値は累計期間）

■半導体分野：2,150百万円（対前年同期：78.4%増）

- ・需要拡大に合わせて、生産設備を増強し、流動的人材の確保も進め生産体制の強化

■FPD分野：771百万円（対前年同期：18.7%減）

- ・2Q以降は有機ELとG10.5液晶パネルの受注拡大

■その他分野：50百万円（対前年同期：6.5%減）

②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- ・生産設備の増強や人材採用を積極的に進めていることで、減価償却費や労務費等が増加
- ・売上高増加に伴い材料費と外注加工費も増加

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1.決算概要



B/S分析

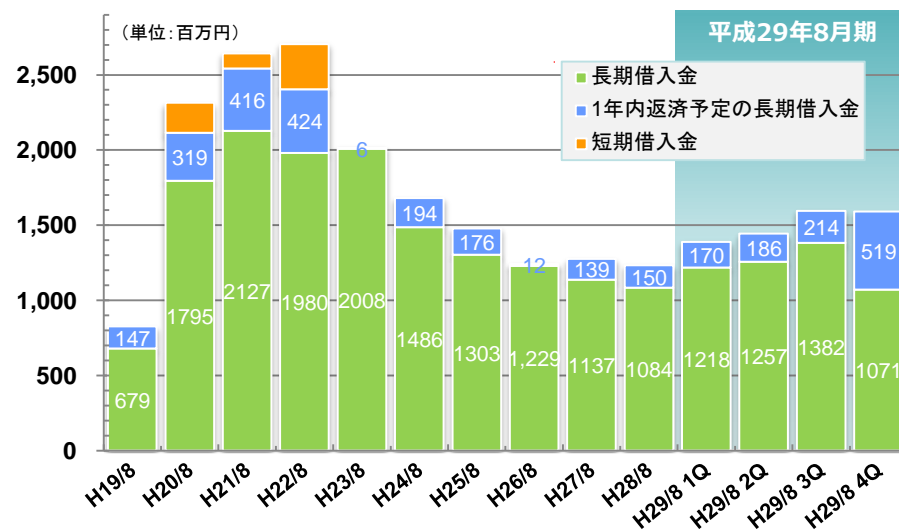
B/S

(単位：百万円)	平成28年8月期 会計年度末	平成29年8月期 会計年度末
流動資産	1,415	3,701
現金及び預金	513	2,425
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	699	910
たな卸資産	163	315
固定資産	1,154	1,717
建物・土地	632	777
機械及び装置	480	852
流動負債	484	1,188
有利子負債（短期）※	150	519
固定負債	1,106	1,092
長期借入金	1,084	1,071
負債合計	1,590	2,281
純資産合計	978	3,137
総資産	2,569	5,418

※ 有利子負債（短期）：短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金

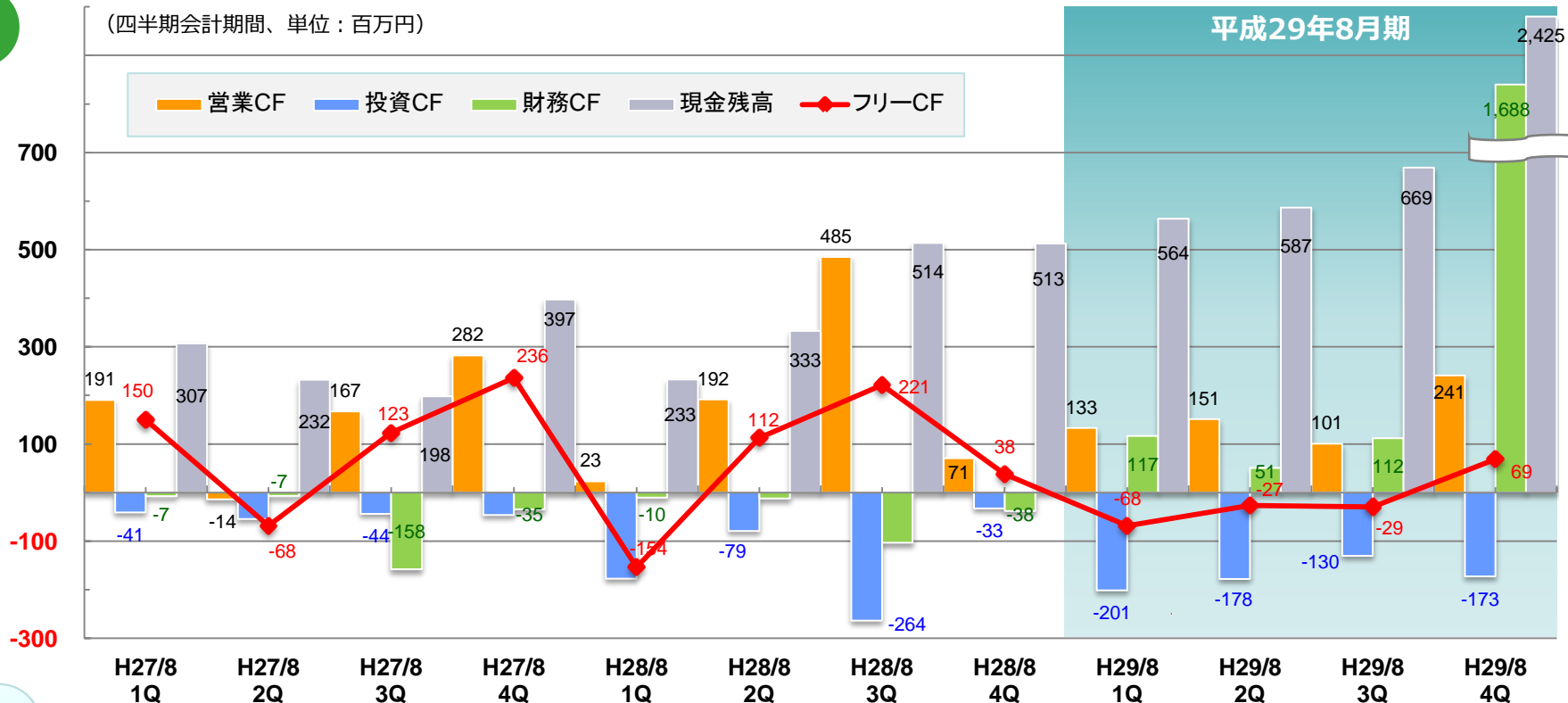
Point

- ① **資産：5,418百万円(前期末比:2,849百万円増加)**
 - 現金及び預金：1,911百万円増加(新株発行等)
 - 売上債権：211百万円増加
 - 有形固定資産：540百万円増加
- ② **負債：2,281百万円(前期末比:690百万円増加)**
 - 1年内返済予定長期借入金：369百万円増加
 - 未払金：121百万円増加
 - 未払法人税等：114百万円増加
 - 長期借入金：12百万円減少
- ③ **純資産：3,137百万円(前期末比:2,158百万円増加)**
 - 資本金：445百万円増加
 - 資本剰余金：813百万円増加
 - 利益剰余金：454百万円増加
 - 自己資本比率：38.1%→57.9%



CF分析

CF



Point

① 営業活動によるCF (当期累計) : 626百万円

- 税引前当期純利益 : 739百万円
- 減価償却費 : 215百万円
- 支払利息 : 21百万円
- 売上債権の増加 : 211百万円減少
- たな卸資産の増加 : 152百万円減少

② 投資活動によるCF (当期累計) : ▲681百万円

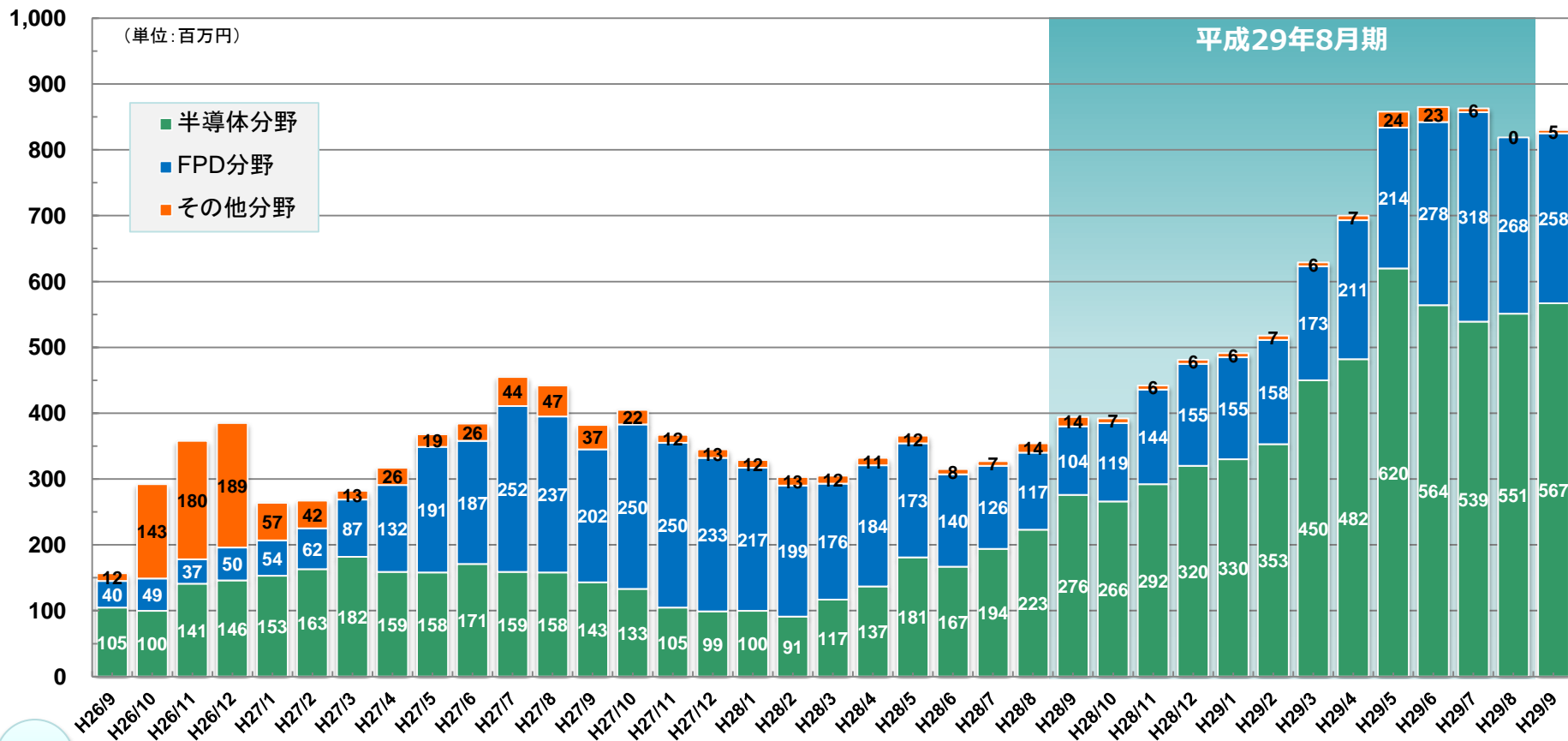
- 有形固定資産の取得による支出 : 655百万円

③ 財務活動によるCF (当期累計) : 1,966百万円

- 長期借入 : 670百万円 借入金返済 : 313百万円
- 株式発行による収入 : 881百万円
- 自己株式の売却による収入 : 813百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

月次受注残高の推移



Point

- 半導体分野では、段階的な受注増加が見込まれ、生産能力拡大で高水準な受注と出荷検収が続く見通し。
- FPD分野は、第10.5世代大型液晶パネル向けと有機EL関連装置の需要が中長期的に安定して拡大。
- その他分野は、主だった動きはなし。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。

販売分野別の環境と方針

半導体分野

- ◆ 工程では、特にエッチャー、CVD、ALDが拡大見込み
- ◆ 拡大する各工程の真空パーツ受注に注力
- ◆ 生産力拡大と技術者育成で試作能力の向上

FPD分野

- ◆ 中国のG10.5サイズ液晶と有機ELで大型投資続く
- ◆ G10.5真空チャンバーと有機EL向け真空パーツ受注継続
- ◆ 既存生産能力活かし高効率化で生産量拡大図る

その他分野

- ◆ その他分野は余剰生産力と外注活用方針
- ◆ 半導体とFPD分野の活況で納期対応に課題

3.平成30年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

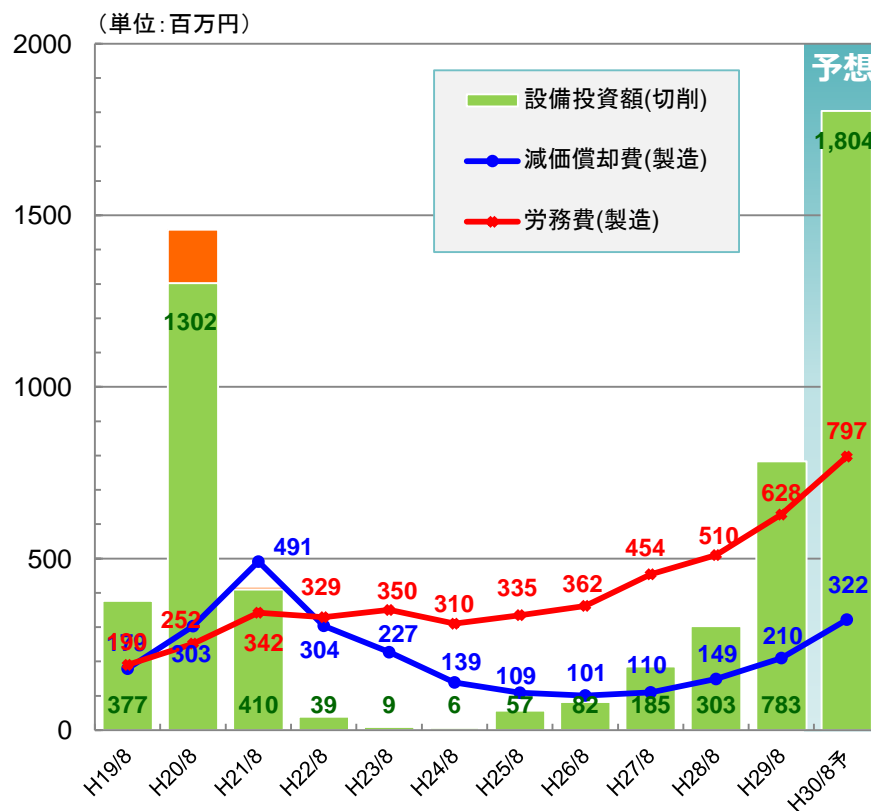
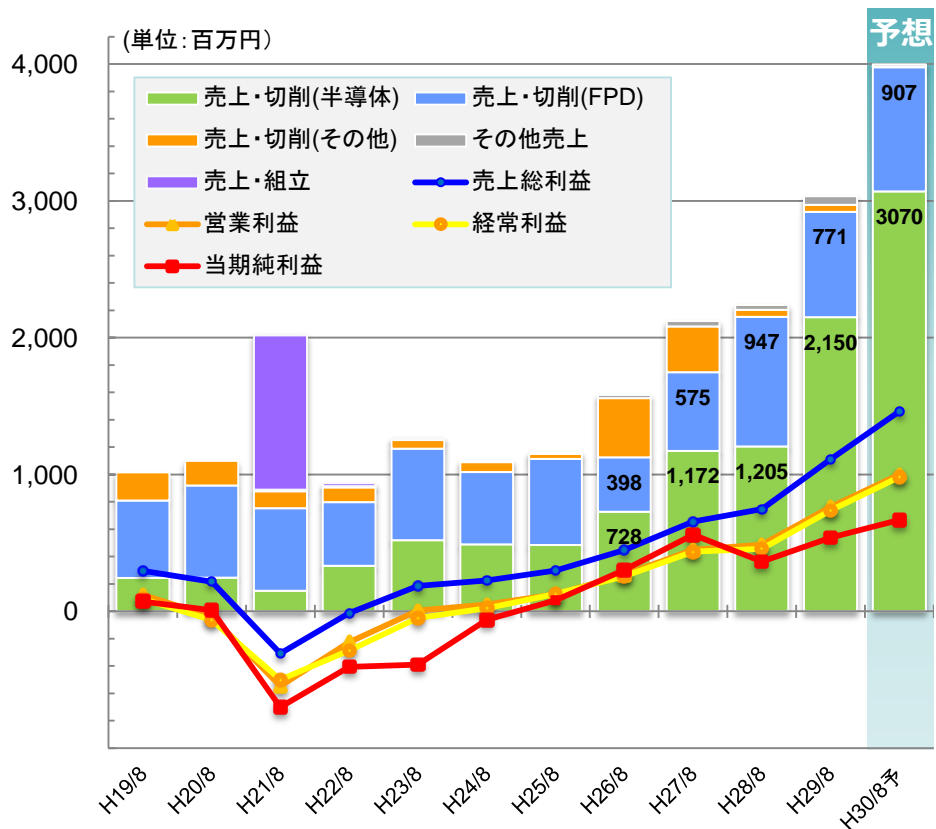
業績
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成30年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期(累計)	2,000	550	539	367	30.81
通期	4,000	1,000	980	668	56.08

Point

- ✓ 半導体分野は21億から30億以上へ増加見込
ドライエッチング工程とCVD工程の拡大
- ✓ FPD分野は7.7億から9億へ増加見込
- ✓ 半導体分野への生産設備増強を継続
- ✓ 新工場や新事業所の設置を急ぐ方針



中期事業計画の状況

中期事業計画

中期事業計画の進捗と優先順位

事業分野	目標	進捗等
既存事業	半導体分野の伸長 生産性向上	エッチャー中心に拡大続く 3D NANDが主因
M & A	中小を中心にシナジー有り 又は半導体のリスクヘッジ	自社向け投資を優先し中断
新分野	作業補助・介護ロボット等	鹿児島大学と共同研究 実証試験機完成 近日中に関連学会へ展示予定
市場変更	期間中に東証一部を目指す	組織の課題等を改善し、着実に行動中

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



Company Profile

企業情報

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

主要製品

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

総合力で未来を拓く～真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー～

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)	発行済株式総数	11,911,600株
設立	昭和63年10月	単元株式数	100株
資本金	5億8117万円 (平成29年8月31日現在)	株主総数	6,286名
役員	代表取締役社長 前田 俊一 専務取締役 山元 弘 取締役 (監査等委員) 兒島 吉二 取締役 海崎 功太 取締役 (監査等委員) 寺畑 幸雄 取締役 藤山 敏久 取締役 (監査等委員) 梶 智和	大株主 (普通株式)	前田 俊一 4,817,200株 日本トラスティ・サービス 信託銀行 509,200株 前田 美佐子 504,000株 日本マスタートラスト信託銀行 209,700株 前田 良子 180,000株 BARCLAYS BANK PLC A/C CLIENT SEGREGATED A/C PB CAYMAN CLIENTS 171,200株 五十嵐 光栄 168,000株 川本 嘉世子 134,000株 資産管理サービス信託銀行 134,000株 マルマエ共栄会 122,400株
従業員数	161名 うち 臨時雇用者等76名 (平成29年8月31日現在)		
所在地	本社 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務 		
経営理念	<ol style="list-style-type: none"> 1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>		(平成29年8月31日現在)